



映画世界に誘う市川バンドのジャズ



薄曇りの10月最終日曜日、市川バンドのジャズコンサートが行われました。ヴォーカルの渡辺さんの艶のある歌声にうっとり。トランペットの生井さん、ベースの鶴岡さん、ピアノの中山さん、ドラムのRISAさん、バンドオーナーでありギターの市川さんの演奏も素晴らしい、会場を魅了しました。

〈ジャストインタイム〉の軽快な曲に始まり、〈この素晴らしき世界〉〈ムーソリバー〉など、しっとり聴かせる曲も披露。曲や映画紹介のお話も楽しかったです。日本の歌謡曲〈真赤な太陽〉〈ウイスキーがお好きでしょ〉は華やかな曲調に。〈虹の彼方に〉では、ブラジルの珍しい楽器のパフォーマンスに会場が沸きました。秋にふさわしい〈枯れ葉〉のアンコール曲で幕が閉じました。

「メリハリのある選曲で、ステージと近いのが良かった」と笑顔で帰られたお客様。素敵な、でも気取らないジャズの魅力が全国に届ける市川バンド。ぜひまた、学びピアノコンサートでお会いできる日を楽しみにしています。

(広報ボランティア 佐藤)



秋の夜景と一杯のワイン、気のきいた音楽で心地よい一時を過ごしました。

気持ちの良い秋の夜、「レストランさくら」のご協力をいただき、センター初のワインなどアルコールをたしなみながら音楽を楽しむイブニングコンサートが開催されました。第1部は山本江梨子さんと小林萌里さんによる〈ヴァイオリンとピアノによるタンゴ〉。アルゼンチンタンゴのスタンダード「ラ・クンパルシータ」からモダンタンゴのピアンソラの「リベルタンゴ」など哀愁と情熱のタンゴの調べ堪能しました。各テーブルを回りながらのヴァイオリン演奏はワクワクしました。第2部は大地穂さんのヴォーカル、肥山早苗さんのピアノによる〈ヴォーカルとピアノによるポップス〉。懐かしい「22歳の別れ」「なごり雪」や、もっと懐かしい「蘇州夜曲」についてお酒もすすみがち、おかわりされる方も多くいらつしやいました。大地さんの素晴らしい歌唱力にもっと聞き惚れていた秋の夜でした。